

# 外来害虫クビアカツヤカミキリの被害

千葉県さくらの会

\* 現在はまだ千葉県に侵入していませんが、いつ被害が見つかってもおかしくない害虫です。

## 1 クビアカツヤカミキリについて

中国大陸に生息している体長2～4cmのカミキリムシ(写真1)で、日本に侵入してサクラ、モモ、ウメなどのバラ科樹木で被害が確認され、2018年、特定外来生物に指定されました。中国大陸ではこの他、コナラ、ヤナギ類、オリーブなどバラ科以外の樹種で被害が確認されています。

\* 特定外来生物とは:「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」によって指定された生物で、飼養、保管、運搬、輸入、野外への放出などが原則禁止となります。



写真1. 成虫

## 2 生態

- ・成虫は、6月から8月頃に出現します。
- ・成虫は、昼間でも活発に行動するとともに、すぐに交尾が可能で(写真2)、2～9日後から産卵を開始します。
- ・メスは、6月から8月頃に樹木の樹皮の割れ目に産卵します(写真3)。
- ・幼虫(写真4)は、すぐに樹皮下に穿入し、形成層や水分・養分の通り道を食害します。
- ・幼虫の活動期間は4月から10月頃までで、樹皮外にフラス(木くずと虫ふんの混合物)を排出します(写真5、6)。
- ・終齢幼虫は、太さ約1cm、長さ約4cmになります。



写真2. 交尾



写真3. 卵



写真4. 幼虫

\* 写真1～4: 田村凌撮影

\* 写真5～7: 国立研究開発法人森林総合研究所提供

・さなぎは、6月上旬頃から樹皮をかみ切って脱出します。脱出孔は、縦2～3cmの楕円形です(写真7)。



写真5. フラス



写真6. フラス



写真7. 脱出孔

### 3 被害地域

\* 現在、全国で同時多発的に被害が発生しています。

#### (1) 関東地域

2013年、最初に埼玉県でサクラに被害が確認され、次いで群馬県・東京都で確認されて(2015年)、栃木県(2017年)、茨城県(2019年)と被害が拡大しています。

#### (2) 中部地域

2012年から愛知県で、サクラに被害が確認されました。その後、2019年に三重県で被害が確認されました。

#### (3) 近畿地域

2015年に大阪府で、ウメ・サクラに被害が確認されました。その後、和歌山県で成虫が確認され(2017年)、奈良県でも成虫が確認されました(2018年)。

#### (4) 四国地域

2015年に徳島県で、モモ・ウメ・スモモに被害が確認されました。

### 4 千葉県における被害発生の可能性

#### (1) 被害が発生しそうな地域について

被害が確認されている埼玉県草加市に最も近い松戸市など東葛飾地域で被害の発生することが予想されます。また、コンテナ等に紛れて侵入することも予想されますので、東京湾沿岸地域で発生することも考えられます。

#### (2) 被害の発生する樹種について

被害の確認されている樹種は、サクラ・モモ・ウメ・スモモなどのバラ科樹木がほとんどです。試験の結果、本県の特産物であるナシでもサクラと同等に食害される可能性のあることが明らかとなりました(参考文献)。

#### (3) 被害の確認について

- ・被害は激害になって、初めて発見されることが多いです。
- ・早期発見、早期駆除が大切です。

#### (4) 生息の確認

- ・樹皮外に排出されるフラス(写真5、6)や脱出孔(写真7)によって確認します。
- ・日中でも行動し、繁殖力や拡散能力が旺盛です。急速な拡大が懸念されます。

参考文献

- (1)北島博(2018)数樹種の細枝に接種したクビアカツヤカミキリ孵化幼虫の発育, 森林防疫67(3), 11~16  
 (2)東京都自然環境部計画課(2021)クビアカツヤカミキリ防除の手引き,39PP

表. クビアカツヤカミキリによる被害の可能性

科	属	種	被害の可能性	備考
バラ	サクラ	ソメイヨシノ	◎*	千葉県以外で被害が確認されている
		オオヤマザクラ	△	
		ウワミズザクラ	△	
		ウメ	◎*	千葉県以外で被害が確認されている
		スモモ	◎*	千葉県以外で被害が確認されている
	リンゴ	リンゴ	◎	
	ナシ	ナシ	◎	
	ビワ	ビワ	△	
イチヨウ	イチヨウ	イチヨウ	×	針葉樹
ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	×	針葉樹
モクレン	モクレン	ホオノキ	×	
クスノキ	クスノキ	クスノキ	×	常緑広葉樹
マメ	イヌエンジュ	イヌエンジュ	△	
ニレ	ケヤキ	ケヤキ	×	
ブナ	コナラ	シラカシ	×	外国の文献で被害報告
		コナラ	×	外国の文献で被害報告
クルミ	サワグルミ	サワグルミ	△	
ヤナギ	ハコヤナギ	セイヨウハコヤナギ	×	外国の文献で被害報告
	ヤナギ	シダレヤナギ	△	
カエデ	カエデ	イロハモミジ	△	
		トウカエデ	×	
トチノキ	トチノキ	トチノキ	×	
アオギリ	アオギリ	アオギリ	×	
ミズキ	ミズキ	ハナミズキ	×	
カキノキ	カキノキ	カキノキ	×	外国の文献で被害報告
モクセイ	モクセイ	キンモクセイ	×	常緑広葉樹

(注1)◎\*:被害がある、◎:被害の可能性が大きい、△:被害の可能性あり、×:被害の可能性なし  
 (注2)北島博(2018)森林防疫67(3)を参考に作成

文責 石谷栄次(樹木医)